

## 国立青少年教育施設における傷病の概況（令和4年度調査）速報値

### < 概要版 >

#### 調査結果のポイント

令和4年度の国立青少年教育施設（27施設）の利用者数は約136万人で、そのうち、傷病の発生件数は1,806件（負傷741件、疾病1,065件）であった。

##### （負傷の概況）

負傷で多かった症状は「打撲」（158件）で、次いで「ねんざ」（116件）、「虫さされ」（95件）であった〔表2-1-1〕。症状毎に負傷した部位と負傷の要因をみると、それぞれ多かった部位や要因は表1のとおりであった〔表2-2-1、表2-2-3〕。

表1. 負傷の症状別にみた負傷した部位と負傷の要因（上位3つ）

症 状	部 位	要 因
1. 「打撲」 (158件)	1. 「頭」(53件) 2. 「膝」(18件) 3. 「顔」(16件)	1. 「不注意(本人)」(83件) 2. 「不安定さ・滑りやすさ(環境)」(41件) 3. 「不慣れ(本人)」(37件)
2. 「ねんざ」 (116件)	1. 「足首」(85件) 2. 「手首」(14件) 3. 「膝」「足・指」(4件)	1. 「不注意(本人)」(44件) 2. 「不慣れ(本人)」(26件) 3. 「失敗(本人)」(22件)
3. 「虫さされ」 (95件)	1. 「手・指」(19件) 2. 「足首」(16件) 3. 「大腿」「足・指」(10件)	1. 「虫・動物(環境)」(95件) 2. 「不適切な服装(装備)」(10件) 3. 「注意不足(指導・引率者)」(9件)

負傷の発生件数が多かった活動は「スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）」（101件）で、次いで「オリエンテーリング・ウォークラリー」（81件）、「自由時間」（75件）であった〔表1-6〕。活動毎に負傷の症状をみると、スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）では「ねんざ」（31件）、「打撲」（26件）、「虫さされ」（9件）、「オリエンテーリング・ウォークラリー」では「ねんざ」と「虫さされ」（22件）、「打撲」と「すり傷」（10件）、「自由時間」では「打撲」（23件）、「きり傷」（18件）、「すり傷」と「虫さされ」（8件）が多くなっていた〔表2-3-2〕。

##### （疾病の概況）

疾病で多かった症状は「発熱」（430件）で、次いで「頭痛」（152件）、「嘔吐」（114件）であった〔表3-1-1〕。なお、発熱のうち、「熱中症による」ものは65件であった。症状毎に発症した要因をみると、発熱では「疲労(本人）」（213件）、「病原体（ウイルス等）(環境）」（104件）、「気温(本人）」（70件）、「頭痛」では「疲労(本人）」（98件）、「気温(環境）」（47件）、「日差し(環境）」と「不安・心配・緊張(本人）」（26件）、「嘔吐」では「疲労(本人）」（53件）、「不安・心配・緊張(本人）」（28件）、「寝不足(本人）」（25件）が多くなっていた〔表3-2-2〕。

(負傷の発生件数・割合の推移 (前回調査との比較))

- ・症状別にみると (表 2)、前回調査に続き、「打撲」(21.3%) が高い割合を占めている。また、前回調査に比べ、「ねんざ」(15.7%) や「虫さされ」(12.8%) の占める割合が高くなり、それぞれ負傷に占める割合の順位が上がっている。
- ・活動内容別にみると (表 3)、「スポーツ活動」(13.6%) が占める割合は高いものの、前回調査に比べ、約 5 ポイント減少している。一方、前回 5 位だった「オリエンテーリング・ウォークラリー」(10.9%) の占める割合が高くなり、「スポーツ活動」に次いで高くなっている。

表 2. 症状別負傷発生件数・割合の推移 (上位 10 項目)

令和3年度(前回調査)				令和4年度(今回調査)			
順位	症状	件	%	順位	症状	件	%
1	打撲	90	18.3	1	打撲	158	21.3
2	きり傷	73	14.9	2	ねんざ	116	15.7
3	ねんざ	67	13.6	3	虫さされ	95	12.8
4	やけど	59	12.0	4	きり傷	80	10.8
5	虫さされ	53	10.8	5	やけど	76	10.3
6	すり傷	39	7.9	6	すり傷	72	9.7
7	骨折	30	6.1	7	骨折	25	3.4
8	さし傷	22	4.5	7	さし傷	25	3.4
9	突き指	13	2.6	9	突き指	13	1.8
10	鼻血	5	1.0	10	鼻血	12	1.6

表 3. 活動内容別負傷発生件数・割合の推移 (上位 10 項目)

令和3年度(前回調査)				令和4年度(今回調査)			
順位	活動	件	%	順位	活動	件	%
1	スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)	90	18.3	1	スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)	101	13.6
2	野外炊事	66	13.4	2	オリエンテーリング・ウォークラリー	81	10.9
3	創作活動(クラフト等)	42	8.6	3	自由時間	75	10.1
4	自由時間	38	7.7	4	野外炊事	58	7.8
5	オリエンテーリング・ウォークラリー	35	7.1	5	登山・ハイキング	55	7.4
6	登山・ハイキング	34	6.9	6	創作活動(クラフト等)	48	6.5
7	移動中	29	5.9	7	移動中	43	5.8
8	アドベンチャープログラム・インシアティブゲーム	14	2.9	8	研修・学習活動	27	3.6
8	キャンプファイヤー・キャントルセレモニー	14	2.9	9	アドベンチャープログラム・インシアティブゲーム	25	3.4
8	研修・学習活動	14	2.9	10	カッター・カヌー・ボート・ヨット	24	3.2
8	就寝時間(起床時も含む)	14	2.9	10	就寝時間(起床時も含む)	24	3.2

# 傷病の特徴と今後の安全対策

## 1. 負傷の特徴と安全対策

### (負傷の特徴)

- 負傷した状況を見ると、スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）では接触プレーによる骨折や靭帯損傷・断裂、打撲、オリエンテーリング・ウォークラリーでは転倒による手の骨折やハチやダニの虫さされ、自由時間ではベッドやロフトからの転落、移動中の衝突・転倒による骨折やきり傷、打撲等といった負傷が目立っている。
- 負傷が発生した時間をみると、活動（午前）・活動（午後）ともに後半の時間帯になるにつれ、負傷の割合が高くなる傾向がみられる。
- 負傷の要因をみると、不注意、不慣れ、失敗といった本人の要因が5割強を占めており、虫・動植物、不安定さ・滑りやすさといった環境要因、注意不足や指導不足といった指導・引率者の要因はそれぞれ2割弱を占めている。

### (今後の安全対策)

- 指導者は、参加者に対し、入所時や活動前の安全指導（施設ではどのような事故やけがが起きやすいのか、それらはどうすれば防げるのかなど）を徹底し、安全意識（自分の身は自分で守る、他の人の安全にも気を配る等）の向上に努めるようにする。
- 指導者は、活動前だけでなく、活動中も事故やけがの予兆を見逃さないよう危険（リスク）の発見、把握に努めるようにする。特に、活動が後半になるにつれ、負傷する割合が高くなる傾向がみられることから、状況に応じて適切な安全指導や安全対策を行うようにする。
- 施設では、事前打ち合わせの際に、施設で起きやすい事故やけがとその安全対策についてきちんと説明し、利用団体の指導者・引率者が適切な安全管理や安全指導を行えるよう支援する。

## 2. 疾病の特徴と安全対策

### (疾病の特徴)

- 発症した症状をみると、発熱、頭痛、嘔吐、吐き気、腹痛が上位を占めており、いずれの症状も「疲労」が主な要因として挙げられている。その他、発熱や頭痛では気温、嘔吐や腹痛では不安・心配・緊張といった要因も挙げられていた。
- 疾病の申し出があった時間をみると、他の時間帯に比べ、起床・朝食等や活動（午前）の時間帯の割合が高い傾向がみられる。
- 発症した後の対応をみると、疾病を申し出た者の約5割は帰宅している。

### (今後の安全対策)

- 施設での生活は、普段の生活とは異なり、慣れない環境による不安や緊張で寝不足になったりすることもあるため、計画段階では、利用者の年齢や体力に合わせた無理のない活動計画を立てるようにする。
- 利用期間中は、朝の時間帯を中心に定期的に健康チェックを行い、疲れている様子がみられる利用者には適宜休憩を取らせ、体調を崩さないように配慮するなど、利用者の疲れ具合や体調に合わせた柔軟なプログラム運営を心がけるようにする。

## 調査の概要

---

### 1. 調査の趣旨

本調査は、国立青少年教育施設で発生した傷病や事故の状況を把握し、その傾向や要因を検証することで、施設の安全管理の改善や安全対策の充実に資する基礎資料を得ることを目的としている。

### 2. 調査対象とした傷病の条件

研修期間中に発生した傷病もしくは活動等によって既往症が悪化した傷病のうち、以下のいずれかの状況に該当する傷病

- ・保健室や事務室で対応した傷病
- ・病院を受診した傷病（事務室を通さず、団体が直接病院に搬送した傷病も含む）
- ・活動現場等で施設職員が手当てした傷病

### 3. 調査期間

令和4年4月1日（日）～令和5年3月31日（日）

### 4. 調査対象とした施設

国立青少年教育振興機構が有する施設 27 施設（国立オリンピック記念青少年総合センターを除く）

### 5. 調査実施体制

国立青少年教育振興機構教育事業部企画課（調査・普及）、青少年教育研究センター（集計・分析）

### 6. 調査内容（詳細は巻末「傷病記録」を参照）

- （1）傷病者の情報（氏名、性別、年齢）
- （2）傷病が発生した状況（日時、利用者数、天候、活動場所、活動内容、処置・静養後等）
- （3）けが（症状、部位、程度、けがをした時の状況）又は病気（症状、時期）
- （4）傷病の発生要因（本人、指導・引率者、装備等、環境）

### 7. 本書を読むに当たって

- ・複数の傷病が重複して発生した場合、最も当てはまる症状の一つを選んで回答しているため、副次的に発生した傷病は件数に含まれていない。

例：自転車で転倒し、手首を骨折、足を擦りむいた場合 → 骨折（手首）として集計

- ・重複回答や無回答によって回答が分からなかったものは「不明」として集計している。
- ・図表に示している回答比率（%）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、その和が100.0%と一致しない場合がある。
- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の流行の影響により、①利用者数が大幅に減少していること、②感染防止対策の観点から活動内容に偏りが生じていることが考えられるなど、例年とは状況が異なる点に留意する必要がある。

# 調査結果の概要

## 1. 施設で発生した傷病の概況

表 1-1. 負傷・疾病別・事業種別の発生状況 (件)

事業別	傷 病			負 傷			疾 病		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
研修支援	1,727	913	814	693	389	304	1,034	524	510
教育事業	79	42	37	48	27	21	31	15	16
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1,806	955	851	741	416	325	1,065	539	526

研修支援：学校や青少年団体、青少年教育関係者等の研修目的達成に向けて、広く学習の場や機会を提供し、より効果的なプログラムの提案や教育的指導、助言等を行うこと。

教育事業：青少年の課題や国の政策課題に対応しつつ、立地条件及び地域特性やニーズに対応した、青少年の体験活動事業や青少年教育指導者等の養成研修事業を行うこと。

表 1-2. 年齢期別傷病発生件数・割合

年齢期	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
幼児	19	2.6	26	2.4	45	2.5
小学生	356	48.0	532	50.0	888	49.2
中学生	201	27.1	277	26.0	478	26.5
高校生	63	8.5	112	10.5	175	9.7
大学生等	54	7.3	72	6.8	126	7.0
社会人	47	6.3	46	4.3	93	5.1
その他	1	0.1	0	0.0	1	0.1
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

表 1-3. 月別傷病発生件数・割合

月	負傷		疾病		計		
	件	%	件	%	件	%	
春・夏	4月	62	8.4	56	5.3	118	6.5
	5月	93	12.6	111	10.4	204	11.3
	6月	119	16.1	199	18.7	318	17.6
	7月	93	12.6	198	18.6	291	16.1
	8月	77	10.4	140	13.1	217	12.0
	9月	63	8.5	107	10.0	170	9.4
秋・冬	10月	68	9.2	92	8.6	160	8.9
	11月	57	7.7	45	4.2	102	5.6
	12月	18	2.4	25	2.3	43	2.4
	1月	21	2.8	19	1.8	40	2.2
	2月	37	5.0	35	3.3	72	4.0
	3月	33	4.5	38	3.6	71	3.9
不明	0	0.0	0	0.0	0	0.0	
計	741	100.0	1065	100.0	1806	100.0	

表 1-4. 時間別傷病発生件数・割合

時間		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
起床・朝食等	6時	7	0.9	42	3.9	49	2.7
	7時	8	1.1	80	7.5	88	4.9
	8時	19	2.6	84	7.9	103	5.7
活動(午前)	9時	14	1.9	68	6.4	82	4.5
	10時	71	9.6	73	6.9	144	8.0
	11時	99	13.4	71	6.7	170	9.4
昼食	12時	60	8.1	78	7.3	138	7.6
活動(午後)	13時	50	6.7	52	4.9	102	5.6
	14時	88	11.9	62	5.8	150	8.3
	15時	103	13.9	69	6.5	172	9.5
	16時	60	8.1	60	5.6	120	6.6
夕食・入浴等	17時	30	4.0	39	3.7	69	3.8
	18時	19	2.6	63	5.9	82	4.5
活動(夜)	19時	29	3.9	52	4.9	81	4.5
	20時	44	5.9	45	4.2	89	4.9
	21時	16	2.2	57	5.4	73	4.0
	22時	19	2.6	40	3.8	59	3.3
就寝	23～5時	5	0.7	30	2.8	35	1.9
不明		0	0.0	0	0.0	0	0.0
計		741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

※上記(左)の時間帯は施設の標準的な生活時間帯を示している。

表 1-5. 場所別傷病発生件数・割合

場所		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
生活エリア	宿泊室	81	10.9	331	31.1	412	22.8
	通路・階段	34	4.6	12	1.1	46	2.5
	食堂	9	1.2	97	9.1	106	5.9
	浴室	19	2.6	2	0.2	21	1.2
活動エリア	研修室・オリエンテーション室	51	6.9	106	10.0	157	8.7
	体育館・プレイホール・講堂	105	14.2	131	12.3	236	13.1
	武道場	6	0.8	3	0.3	9	0.5
	クライミングウォール	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	工作室・調理室等	9	1.2	4	0.4	13	0.7
	野外炊飯場	58	7.8	28	2.6	86	4.8
	テントサイト	5	0.7	12	1.1	17	0.9
	グラウンド・広場・コート等	100	13.5	87	8.2	187	10.4
	屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)	166	22.4	136	12.8	302	16.7
	ロープスコース※	12	1.6	4	0.4	16	0.9
海洋施設	41	5.5	24	2.3	65	3.6	
その他	敷地外の活動場所(バス等の移動も含む)	30	4.0	67	6.3	97	5.4
	その他	15	2.0	20	1.9	35	1.9
不明		0	0.0	0	0.0	0	0.0
計		741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

※アドベンチャープログラムで使用する活動場所

表 1-6. 活動内容別傷病発生件数・割合

活動		負傷		疾病		計	
		件	%	件	%	件	%
陸上活動	登山・ハイキング	55	7.4	35	3.3	90	5.0
	オリエンテーリング・ウォークラリー	81	10.9	101	9.5	182	10.1
	クロスカントリー	0	0.0	2	0.2	2	0.1
	サイクリング・マウンテンバイク	11	1.5	8	0.8	19	1.1
	アドベンチャープログラム・イニシアティブゲーム	25	3.4	23	2.2	48	2.7
	クライミング・ボルダリング	0	0.0	1	0.1	1	0.1
	スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）	101	13.6	70	6.6	171	9.5
水辺活動	カッター・カヌー・ボート・ヨット	24	3.2	21	2.0	45	2.5
	シュノーケリング・スキndaイビング	4	0.5	3	0.3	7	0.4
	海水浴・磯遊び・釣り	17	2.3	3	0.3	20	1.1
	沢登り・川遊び	14	1.9	7	0.7	21	1.2
雪上活動	スキー・スノーボード	7	0.9	3	0.3	10	0.6
	クロスカントリースキー	5	0.7	1	0.1	6	0.3
	雪上活動（雪遊び、スノーシュー等）	8	1.1	8	0.8	16	0.9
野外生活	野外炊事	58	7.8	29	2.7	87	4.8
	キャンプ（テント設営等）	1	0.1	2	0.2	3	0.2
	キャンプファイヤー・キャンドルセレモニー	19	2.6	27	2.5	46	2.5
	創作活動（クラフト等）	48	6.5	25	2.3	73	4.0
	自然観察	9	1.2	7	0.7	16	0.9
研修	研修・学習活動	27	3.6	142	13.3	169	9.4
	奉仕活動	0	0.0	2	0.2	2	0.1
生活	自由時間	75	10.1	160	15.0	235	13.0
	つどい（朝・夕）	4	0.5	8	0.8	12	0.7
	清掃	7	0.9	19	1.8	26	1.4
	食事	15	2.0	109	10.2	124	6.9
	入浴	20	2.7	4	0.4	24	1.3
	就寝時間（起床時も含む）	24	3.2	160	15.0	184	10.2
	移動中	43	5.8	35	3.3	78	4.3
その他	入所前	1	0.1	11	1.0	12	0.7
	その他	38	5.1	39	3.7	77	4.3
不明		0	0.0	0	0.0	0	0.0
計		741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

表 1-7. 病院受診別傷病発生件数・割合

病院の受診	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
無	537	72.5	886	83.2	1423	78.8
日帰り	200	27.0	177	16.6	377	20.9
入院	1	0.1	2	0.2	3	0.2
不明	3	0.4	0	0.0	3	0.2
計	741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

表 1-8. 処置・静養後の対応別傷病発生件数・割合

処置・静養後	負傷		疾病		計	
	件	%	件	%	件	%
活動継続	649	87.6	525	49.3	1174	65.0
帰宅	89	12.0	539	50.6	628	34.8
不明	3	0.4	1	0.1	4	0.2
計	741	100.0	1065	100.0	1806	100.0

## 2. 負傷の概況

### (1) 負傷の状況

表 2-1-1. 負傷の症状

症状	件	%
きり傷	80	10.8
さし傷	25	3.4
すり傷	72	9.7
やけど	76	10.3
日焼け	0	0.0
凍傷	0	0.0
打撲	158	21.3
突き指	13	1.8
ねんざ	116	15.7
靭帯損傷・断裂	8	1.1
脱臼	2	0.3
骨折	25	3.4
鼻血	12	1.6
歯の破折	2	0.3
眼のけが	6	0.8
虫さされ	95	12.8
かぶれ	4	0.5
気道閉塞・誤嚥	0	0.0
溺水	0	0.0
その他	47	6.3
計	741	100.0

<その他>

肉離れ、爪はがれ、靴擦れ、とげ等

表 2-1-2. 負傷の部位

部位	件	%	%	
頭部	頭	71	9.6	19.2
	顔	50	6.7	
	眼	12	1.6	
	首	10	1.3	
上肢部	肩	9	1.2	38.5
	上腕	12	1.6	
	肘	18	2.4	
	前腕	29	3.9	
	手首	38	5.1	
	手・指	180	24.3	
体幹部	胸	2	0.3	3.1
	腹	3	0.4	
	背中	8	1.1	
	腰	10	1.3	
下肢部	尻	3	0.4	38.8
	大腿	18	2.4	
	膝	61	8.2	
	下腿	30	4.0	
	足首	116	15.7	
	足・指	60	8.1	
全身	0	0.0	0.0	
不明	1	0.1	0.1	
計	741	100.0		

表 2-1-3. 「虫さされ」の種類

種類	件	%
アブ・ブヨ	26	27.4
ハチ	30	31.6
ダニ	15	15.8
毛虫	3	3.2
ムカデ	9	9.5
クラゲ	2	2.1
その他	10	10.5
不明	0	0.0
計	95	100.0

表 2-1-4. 負傷の程度

程度	件	%
軽微(その場で手当てできる軽いけが)	553	74.6
軽傷(医師による1か月未満の治療を要するけが)	161	21.7
重傷(医師による1か月以上の治療を要するけが)	23	3.1
致命傷(死亡・後遺症が残る重篤なけが)	0	0.0
不明	4	0.5
計	741	100.0



表 2-1-5. 負傷の要因

(複数回答)

要因		件	%	%
本人	失敗	97	13.1	53.8
	不注意	298	40.2	
	不慣れ	179	24.2	
	不適切な行動	37	5.0	
	寝不足	4	0.5	
	疲労	37	5.0	
	不安・心配・緊張	9	1.2	
	体力不足	16	2.2	
	人間関係(けんか、ふざけ等)	15	2.0	
	既往症	15	2.0	
	アレルギー	3	0.4	
指導・引率者	指導不足	51	6.9	17.9
	注意不足	141	19.0	
	経験不足	17	2.3	
	人数不足	9	1.2	
	連携不足	9	1.2	
	準備不足	9	1.2	
装備	不適切な服装	22	3.0	4.7
	装備不備	20	2.7	
	装備不良(破損・劣化)	7	0.9	
	施設・設備の欠陥・不良	13	1.8	
環境	荒天(強風、雷、吹雪等)	6	0.8	18.2
	気温	9	1.2	
	日差し	1	0.1	
	高度(標高)	0	0.0	
	水深	0	0.0	
	雪	11	1.5	
	落石・落木	4	0.5	
	不安定さ・滑りやすさ	95	12.8	
	虫・動物	99	13.4	
	植物	15	2.0	
	病原体(ウイルス等)	0	0.0	
その他	62	8.4	4.7	
不明	9	1.2	0.7	
回答者数		741		↑

※上記の数値は回答数(N=1319)を基に割合を算出

(2) 症状別にみた負傷の状況

表 2-2-1. 症状別にみた負傷の部位

(件)

部位		きり傷	さし傷	すり傷	やけど	日焼け	凍傷	打撲	突き指	ねんざ	靭帯損傷・断裂	脱臼	骨折	鼻血	歯の破折	眼のけが	虫さされ	かぶれ	気道閉塞・誤嚥	溺水	その他	計
頭部	頭	8	0	1	0	0	0	53	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	4	71
	顔	12	0	6	0	0	0	16	0	0	0	0	0	11	2	0	2	0	0	0	1	50
	眼	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	3	12
	首	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	10
上肢部	肩	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	3	9
	上腕	0	0	1	1	0	0	4	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	12
	肘	1	0	6	0	0	0	8	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	18
	前腕	0	1	4	10	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	7	2	0	0	0	29
	手首	6	0	0	4	0	0	4	0	14	0	0	8	0	0	0	1	0	0	0	1	38
手・指	33	17	15	54	0	0	15	12	3	0	1	4	0	0	0	19	0	0	0	7	180	
体幹部	胸	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	腹	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	背中	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	8
	腰	0	0	1	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
下肢部	尻	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	大腿	1	0	0	1	0	0	4	0	1	0	0	0	0	0	10	0	0	0	1	18	
	膝	6	0	19	1	0	0	18	0	4	4	0	0	0	0	3	0	0	0	6	61	
	下腿	1	1	9	0	0	0	4	0	2	0	0	2	0	0	8	1	0	0	2	30	
	足首	1	0	3	2	0	0	3	0	85	2	0	1	0	0	0	16	0	0	0	3	116
	足・指	11	6	4	2	0	0	11	1	4	0	0	1	0	0	0	10	0	0	0	10	60
全身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
計	80	25	72	76	0	0	158	13	116	8	2	25	12	2	6	95	4	0	0	47	741	

表 2-2-2. 症状別にみた負傷の程度

(件)

程度	きり傷	さし傷	すり傷	やけど	日焼け	凍傷	打撲	突き指	ねんざ	靭帯損傷・断裂	脱臼	骨折	鼻血	歯の破折	眼のけが	虫さされ	かぶれ	気道閉塞・誤嚥	溺水	その他	計
軽微	56	21	63	70	0	0	127	9	85	0	0	0	12	0	4	69	1	0	0	36	553
軽傷	23	4	9	5	0	0	30	4	26	6	2	9	0	2	2	25	3	0	0	11	161
重傷	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	23
致命傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不明	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
計	80	25	72	76	0	0	158	13	116	8	2	25	12	2	6	95	4	0	0	47	741

表 2-2-3. 症状別にみた負傷の要因

(複数回答:件)

要因		きり傷	さし傷	すり傷	やけど	日焼け	凍傷	打撲	突き指	ねんざ	靭帯損傷・断裂	脱臼	骨折	鼻血	歯の破折	眼のけが	虫さされ	かぶれ	気道閉塞・誤嚥	溺水	その他
本人	失敗	12	1	8	10	0	0	25	7	22	1	1	7	0	0	0	1	0	0	0	2
	不注意	40	12	40	42	0	0	83	2	44	2	0	12	0	0	3	6	0	0	0	12
	不慣れ	33	3	19	42	0	0	37	4	26	0	0	5	0	0	0	4	0	0	0	6
	不適切な行動	11	2	2	4	0	0	10	1	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	寝不足	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	疲労	0	0	2	0	0	0	9	0	16	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	6
	不安・心配・緊張	0	0	1	0	0	0	4	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	体力不足	0	0	3	0	0	0	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	人間関係	5	0	2	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	既往症	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
	アレルギー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
指導・引率者	指導不足	10	1	4	14	0	0	11	1	2	0	0	4	0	0	0	2	0	0	0	2
	注意不足	22	10	10	19	0	0	34	2	19	0	0	8	0	1	2	9	0	0	0	5
	経験不足	4	0	1	4	0	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	人数不足	2	0	1	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連携不足	1	0	0	5	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	準備不足	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
装備	不適切な服装	2	0	1	3	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	10	1	0	0	1
	装備不備	2	2	4	7	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1
	装備不良	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	施設・設備の欠陥・不良	2	5	1	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
環境	荒天	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	気温	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0
	日差し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	高度(標高)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	雪	0	0	0	0	0	0	3	0	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	落石・落木	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不安定さ・滑りやすさ	7	0	11	0	0	0	41	2	21	2	1	7	0	1	0	0	0	0	0	2
	虫・動物	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	95	1	0	0	1
	植物	2	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3
病原体(ウイルス等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	2	4	2	1	0	0	15	1	11	3	0	1	5	1	2	1	1	0	0	12	
不明	1	0	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
回答者数(N=741)	80	25	72	76	0	0	158	13	116	8	2	25	12	2	6	95	4	0	0	47	

(3) 活動内容・場所別にみた負傷の発生状況

表 2-3-1. 活動場所別にみた負傷の症状

場所	さり傷	さし傷	すり傷	やけど	日焼け	凍傷	打撲	突き指	ねんざ	靭帯損傷・断裂	脱臼	骨折	鼻血	歯の破折	眼のけが	虫さされ	かぶれ	気道閉塞・誤嚥	溺水	その他	計
生活エリア	18	3	2	0	0	0	31	1	4	0	0	3	2	0	1	9	0	0	0	0	7
宿泊室																					
通路・階段																					
食堂	2	2	5	0	0	0	7	0	13	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	1	34
浴室	0	0	0	2	0	0	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	9
研修室・オリエンテーション室	7	3	2	27	0	0	3	2	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	2	51
体育館・ブレイホール・講堂	9	0	4	3	0	0	25	8	29	4	0	6	0	0	1	4	0	0	0	12	105
武道場	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	6
クライミングウォール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工作室・調理室等	4	0	2	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
野外炊事場	13	1	1	32	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	58
テントサイト	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	5
グラウンド・広場・コート等	4	4	16	4	0	0	20	1	19	0	0	4	2	0	1	20	0	0	0	5	100
屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)	6	7	19	0	0	0	33	1	41	2	1	8	4	1	0	34	1	0	0	8	166
ロープスコース※	0	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	1	12
海洋施設	4	3	11	0	0	0	14	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1	0	0	2	41
敷地外の活動場所(バスの移動も含む)	5	0	1	2	0	0	5	0	3	2	0	1	2	0	0	6	0	0	0	3	30
その他	2	0	5	1	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	15
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	80	25	72	76	0	0	158	13	116	8	2	25	12	2	6	95	4	0	0	4	741

※アドベンチャープログラムで使用する活動場所

表 2-3-2. 活動内容別にみた負傷の症状

活動	さり傷	さし傷	すり傷	やけど	日焼け	凍傷	打撲	突き指	ねんざ	靭帯損傷・断裂	脱臼	骨折	鼻血	歯の破折	目のけが	虫さされ	かぶれ	気道閉塞・誤嚥	溺水	その他	計
登山・ハイキング	1	1	6	0	0	0	12	0	14	0	0	2	2	1	0	13	1	0	0	2	55
オリエンテーリング・ウォークラリー	2	1	10	0	0	0	10	0	22	1	0	4	3	0	0	22	0	0	0	6	81
クロスカントリー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サイクリング・マウンテンバイク	3	1	3	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
アドベンチャープログラム・イニシアティブゲーム	0	4	2	1	0	0	6	2	2	0	0	0	1	0	1	5	0	0	0	1	25
クライミング・ボルダリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)	5	0	6	0	0	0	26	5	31	4	1	4	0	0	0	9	0	0	0	10	101
カッター・カヌー・ボート・ヨット	2	1	3	0	0	0	13	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	24
シュノーケリング・スキューバダイビング	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
海水浴・磯遊び・釣り	4	4	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
沢登り・川遊び	1	0	2	0	0	0	5	1	0	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	14
スキー・スノーボード	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
クロスカントリースキー	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
雪上活動(雪遊び、スノーシュー等)	1	0	0	0	0	0	3	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
野外炊事	15	1	1	31	0	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1	58
キャンプ(テント設置等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
キャンプファイヤー・キャンドルセレモニー	2	1	1	5	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	19
創作活動(クラフト等)	5	2	3	31	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	48
自然観察	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	9
研修・学習活動	2	1	1	2	0	0	6	1	2	0	0	3	0	0	0	4	0	0	0	5	27
奉仕活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自由時間	18	3	8	1	0	0	23	1	4	0	0	3	1	0	0	8	0	0	0	5	75
つどい(朝・夕)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
清掃	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	7
食事	0	0	0	2	0	0	6	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	3	15
入浴	6	0	3	0	0	0	6	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	2	20
就寝時間(起床時も含む)	5	0	0	0	0	0	10	0	2	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	2	24
移動中	2	2	9	0	0	0	7	0	17	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	1	43
入所前	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	3	0	6	2	0	0	6	3	5	0	0	0	2	0	1	6	1	0	0	3	38
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	80	25	72	76	0	0	158	13	116	8	2	25	12	2	6	95	4	0	0	47	741

#### (4) 負傷した状況

##### ① 負傷の発生が多かった活動での事例

###### ア. スポーツ活動（野球、サッカー、テニス等）

[活動] スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)/体育館・プレイホール・講堂

症状	骨折(肘)	程度	重傷	傷病者	小学生・男
状況	試合中に相手選手と接触し、転倒。右肘が床にぶつかり骨折。				

[活動] スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)/グラウンド・広場・コート等

症状	骨折(上腕)	程度	重傷	傷病者	中学生・男
状況	アメリカンフットボールの練習中に他の選手と接触し、転倒して骨折した。				

[活動] スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)/グラウンド・広場・コート等

症状	骨折(足首)	程度	重傷	傷病者	高校生・女
状況	ラグビータックルの練習をしているとき、ボールキャリアの足首にタックルされた。				

[活動] スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)/体育館・プレイホール・講堂

症状	靭帯損傷・断裂(膝)	程度	重傷	傷病者	大学生等・女
状況	柔道の練習中、技をかけられて返そうとした際に左膝を負傷した。				

[活動] スポーツ活動(野球、サッカー、テニス等)/グラウンド・広場・コート等

症状	打撲(頭)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	プレー中に接触して後ろに転倒し、頭と首を強打した。				

###### イ. 野外炊事

[活動] オリエンテーリング・ウォークラリー/屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)

症状	骨折(前腕)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	オリエンテーリングで転倒し、左手をついた際に骨折。				

[活動] オリエンテーリング・ウォークラリー/屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)

症状	骨折(胸)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	オリエンテーリング中、坂道を下っていたところ、足がもつれて転倒し、胸部周辺を地面にうった。				

[活動] オリエンテーリング・ウォークラリー/屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)

症状	虫刺され(大腿)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	活動中、右大腿部内側をマダニに噛まれた。				

[活動] オリエンテーリング・ウォークラリー/屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)

症状	打撲(上腕)	程度	軽傷	傷病者	小学生・女
状況	地面がぬかるんでいるところを走って転倒し、右腕を打撲。				

## ウ. 自由時間

[活動] 自由時間/宿泊室

症状	骨折(前腕)	程度	重傷	傷病者	小学生・女
状況	ロフトから降りる際、足が滑り転倒。着地の際に左手をついて骨折。				

[活動] 自由時間/体育館・プレイホール・講堂

症状	骨折(手首)	程度	重傷	傷病者	小学生・女
状況	追いかけてっこをしていて、転んだ際に手をついて手首を骨折した。				

[活動] 自由時間/宿泊室

症状	きり傷(顔)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	部屋で2段ベッドの間を通ろうとしたら転倒し、あごに裂傷を負った。				

[活動] 自由時間/グラウンド・広場・コート等

症状	ねんざ(足首)	程度	軽傷	傷病者	小学生・男
状況	坂を下りた際、岩に右足がぶつかってバランスを崩し、右足首をねんざ。				

[活動] 自由時間/宿泊室

症状	きり傷(手首)	程度	軽傷	傷病者	中学生・男
状況	ガラス部分をノックしたら思ったより力が強く入ってしまい、ガラスが割れてしまった。				

## ② その他の活動で重傷だった事例

[活動] 登山・ハイキング/屋外運動コース(登山、OL、サイクリング等)

症状	骨折(手首)	程度	重傷	傷病者	小学生・女
状況	下山途中に足をすべらせ、左手をついて骨折				

[活動] 移動中/宿泊室

症状	骨折(足・指)	程度	重傷	傷病者	中学生・男
状況	宿泊棟の階段をかけあがろうとしてつまずき、バランスを崩して、階段の角に左足をぶつけた。				

[活動] 入浴/浴室

症状	骨折(手首)	程度	重傷	傷病者	中学生・男
状況	脱衣所でズボンを脱ぐ時に、足を滑らせて後方へ転倒。その際、床に手をつき、左手首を骨折した。				

[活動] スキー・スノーボード/敷地外の活動場所(バス等の移動も含む)

症状	靭帯損傷・断裂(膝)	程度	重傷	傷病者	大学生等・女
状況	スキーをしていて転び、膝をひねった。				

### 3. 疾病の概況

#### (1) 疾病の状況

表 3-1-1. 疾病の症状

症状	件	%
発熱	430	40.4
咳・喉の痛み	35	3.3
くしゃみ・鼻水	4	0.4
喘息	2	0.2
過呼吸	11	1.0
頭痛	152	14.3
めまい	15	1.4
吐き気	86	8.1
嘔吐	114	10.7
腹痛	75	7.0
下痢	1	0.1
生理痛	16	1.5
歯痛	0	0.0
脱水	9	0.8
けいれん	11	1.0
倦怠感(だるさ)	46	4.3
発疹	16	1.5
低体温	0	0.0
その他	42	3.9
計	1065	100.0

<その他>

乗り物酔い、寒気、低血糖、貧血 等

表 3-1-3. 疾病の発症時期

時期	件	%
数日前から	17	1.6
前日から	46	4.3
今朝から	218	20.5
急に	678	63.7
その他	93	8.7
不明	13	1.2
計	1065	100.0

<その他>

入所前、バス乗車中、食後、等

表 3-1-2. 疾病の要因

(複数回答)

	要因	件	%	%
本人	失敗	6	0.6	61.5
	不注意	12	1.1	
	不慣れ	118	11.1	
	不適切な行動	8	0.8	
	寝不足	146	13.7	
	疲労	540	50.7	
	不安・心配・緊張	188	17.7	
	体力不足	74	6.9	
	人間関係(けんか、ふざけ等)	4	0.4	
	既往症	46	4.3	
	アレルギー	30	2.8	
指導・引率者	指導不足	12	1.1	3.4
	注意不足	32	3.0	
	経験不足	4	0.4	
	人数不足	4	0.4	
	連携不足	6	0.6	
	準備不足	7	0.7	
装備	不適切な服装	20	1.9	1.2
	装備不備	1	0.1	
	装備不良(破損・劣化)	0	0.0	
	施設・設備の欠陥・不良	1	0.1	
環境	荒天(強風、雷、吹雪等)	9	0.8	21.9
	気温	185	17.4	
	日差し	90	8.5	
	高度(標高)	10	0.9	
	雪	5	0.5	
	落石・落木	1	0.1	
	不安定さ・滑りやすさ	0	0.0	
	虫・動物	2	0.2	
	植物	2	0.2	
	病原体(ウィルス等)	114	10.7	
その他	144	13.5	7.6	
不明	86	8.1	4.5	
回答者数	1065		↑	

※上記の数値は回答数(N=1907)を基に割合を算出



(2) 症状別にみた疾病の状況

表 3-2-1. 症状別にみた発症時期

(件)

時期	発熱	咳・喉の痛み	くしゃみ・鼻水	喘息	過呼吸	頭痛	めまい	吐き気	嘔吐	腹痛	下痢	生理痛	歯痛	脱水	けいれん	倦怠感(だるさ)	発疹	低体温	その他	計
数日前から	7	1	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	2	17
前日から	13	8	0	0	0	6	2	2	2	8	0	1	0	1	0	0	1	0	2	46
今朝から	79	8	3	0	1	24	5	25	26	22	1	6	0	3	0	9	2	0	4	218
急に	299	14	1	2	9	97	5	47	74	36	0	9	0	4	8	31	13	0	29	678
その他	23	4	0	0	0	21	3	11	12	7	0	0	0	1	2	4	0	0	5	93
不明	9	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	13
計	430	35	4	2	11	152	15	86	114	75	1	16	0	9	11	46	16	0	42	1065

表 3-2-2. 症状別にみた要因

(複数回答:件)

要因	発熱	咳・喉の痛み	くしゃみ・鼻水	喘息	過呼吸	頭痛	めまい	吐き気	嘔吐	腹痛	下痢	生理痛	歯痛	脱水	けいれん	倦怠感(だるさ)	発疹	低体温	その他	
本人	失敗	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	不注意	2	1	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1
	不慣れ	29	2	0	1	3	19	2	12	12	17	0	1	0	4	1	6	1	0	8
	不適切な行動	0	0	0	0	1	1	0	0	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	寝不足	38	9	1	0	1	21	4	24	25	7	0	1	0	3	0	10	1	0	1
	疲労	213	18	2	0	4	98	9	48	53	35	0	3	0	4	2	30	2	0	19
	不安・心配・緊張	48	5	0	0	6	26	5	18	28	26	0	2	0	2	2	9	1	0	10
	体力不足	21	0	0	0	2	14	2	6	11	2	0	0	0	1	1	13	0	0	1
	人間関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	既往症	2	3	0	1	2	10	1	4	4	2	0	1	0	0	6	1	3	0	6
アレルギー	6	4	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	9	0	5	
指導・引率者	指導不足	0	0	0	0	0	3	0	1	4	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0
	注意不足	7	1	0	0	1	4	0	1	11	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	経験不足	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数不足	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	連携不足	2	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	準備不足	2	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
装備	不適切な服装	8	1	0	0	0	6	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0
	装備不備	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	装備不良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設・設備の欠陥・不良	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境	荒天	1	1	0	0	0	2	0	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気温	70	5	0	0	2	47	2	13	10	8	0	1	0	4	2	12	0	0	9
	日差し	36	2	0	0	0	26	0	5	5	2	0	1	0	4	0	6	0	0	3
	高度(標高)	1	0	0	0	1	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	雪	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	落石・落木	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不安定さ・滑りやすさ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	虫・動物	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	植物	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	病原体(ウイルス等)	104	3	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
その他	34	6	1	1	1	17	3	15	30	9	0	7	0	0	4	2	3	0	11	
不明	48	3	0	0	1	5	0	1	12	6	1	3	0	1	0	3	1	0	1	
回答者数(N=1065)	430	35	4	2	11	152	15	86	114	75	1	16	0	9	11	46	16	0	42	